

### 3 柏市

( 柏市・東葛飾郡沼南町の合併 )



市章

市の発足に当たって市民から募集し、昭和 29 年 11 月 21 日に制定されました。

ひらがなの「か・し・わ」の 3 文字をアレンジした図案です。

( 柏市ホームページより )

巻末差込の別紙にカラー版あり。



#### ( 1 ) 概況

合併方式 編入方式 ( 東葛飾郡沼南町を廃し、その区域を柏市に編入する )

合併期日 平成 17 年 3 月 28 日

事務所の位置 柏市柏 5 丁目 10 番 1 号

人口 380,435 人 ( 平成 17 年 3 月 1 日現在常住人口 )

面積 114.90 k m<sup>2</sup>

初代市長 本多晃

初代議長 青柳直樹

議員定数 40 人

#### 位置・地勢等

本市は、千葉県北西部に位置し、東西の距離は約 18 キロメートル、南北の距離は約 15 キロメートル、面積は約 114.9 平方キロメートルである。

隣接する市町村は、東に我孫子市・印西市、利根川を挟んで茨城県取手市・守谷市、南に鎌ヶ谷市・白井市、西に松戸市・流山市、北に野田市となっている。

鉄道は都心から放射状に JR 東日本・常磐線、営団地下鉄・千代田線及びつくばエクスプレスが、南北には東武鉄道・野田線が通っている。

道路は東京・茨城方面への国道 6 号線や常磐自動車道、埼玉・千葉方面への国道 16 号線が通っており、首都圏の放射・環状両方向の交通幹線の交差点に位置する交通の要衝と

なっている。(柏市ホームページより)

## (2) 合併の背景等

(合併申請書添付書類「合併を必要とした理由」より)

### 合併を必要とした理由

#### 1 自立した都市の実現

国から地方への権限委譲に伴い、分権社会の熟成が早まるなか、柏市、沼南町の財政状況は、歳入面では税収、地方交付税が減少する一方、歳出面では高齢化社会の進展などによる経常経費の増嵩により、年々厳しさを増している。

こうした中で、自主財源の確保を含めた行財政基盤の強化により、住民の活動圏に対応した一体的なまちづくりを推進するとともに、廃棄物処理や水質浄化などの環境問題への効果的な取組みや、少子高齢化社会に対応した地域医療体制や救急医療体制の充実、ノーマライゼーションの推進などの健康福祉政策の総合的な展開、子育て支援体制の拡充及び整備を図ることが求められている。

また、両市町は高度経済成長期以降の人口急増期において公共施設や社会資本の整備を図ってきたが、双方に類似した施設の立地がみられたり、各施設の老朽化が進むなどの課題があり、限られた財源のもと広域的な視点に立ち適正配置や用途転換などを進める必要がある。

このような状況を踏まえ、必要な行政サービスを効率的かつ効果的に提供し、多様化、高度化する様々なニーズに対応するためには、行財政改革の推進と自治体の機能の強化などによる、真の意味での自立した都市を目指す必要があり、両市町の合併が不可欠になっている。

#### 2 地理的・歴史的経緯と生活圏の一体性の確保

柏市と沼南町は隣接し、ともに手賀沼に面していることから、古くから、人々の交流や経済的な結びつきの強い地域となっている。

また、両市町が首都圏近郊の都市として急速に発展し、人口が増加する中で、多くの沼南町民が通勤・通学や買い物においては、柏市内の駅やJR常磐線及び東武野田線の沿線地域を利用するなど、生活圏も一体化した地域となっている。

これまでも両市町は、それぞれが独自性を活かした施策を推進しつつ、東葛中部地区総合開発事務組合による共同処理事務や手賀沼を生かしたまちづくり推進委員会による共同事業など、様々な形で連携したまちづくりを行ってきた。

平成12年12月、千葉県が策定した「市町村合併推進要綱」において結びつきパターン

として「柏市・沼南町」が例示されたことを受け、平成 13 年度から平成 14 年度にかけて、両市町を含めた近隣市との合併を想定した各種調査を実施し、その過程を経て、平成 15 年 2 月に「柏市・沼南町合併検討会」を発足させ、両市町の合併に関する具体的な検討を行い、1 市 1 町の合併であっても、今後のまちづくりに大きなメリットがあるとの結論を得た。

この結果を踏まえ、平成 15 年 7 月、「柏市・沼南町合併協議会」を設置した。以降、「合併協議経過一覧」( 引用省略) のとおり合併協議を進めてきた。

### ( 3 ) 合併の経緯等

平成 15 年

- |           |  |
|-----------|--|
| 2 月 10 日  | 柏市・沼南町合併検討会を設置   |
| 3 月 28 日  | 柏市・沼南町合併検討会により、1 市 1 町で合併した場合でも、広域的な課題の解決や中核市への移行など、今後の地域まちづくりに大きなメリットがあるとした調査研究の結果がまとまる |
| 4 月 1 日   | 1 市 1 町の研究結果を両市町の広報誌で公表<br>沼南町はあわせて広報誌を通じて住民アンケートを実施                                     |
| 5 月 6 日   | 柏市、沼南町が、1 市 1 町の合併について具体的な検討・協議を行うため、県に合併重点支援地域の指定を要請                                    |
| 5 月 12 日  | 県が柏市、沼南町を合併重点支援地域に指定   |
| 5 月 17 日  | 柏市・沼南町合併リレーシンポジウム開催(沼南町中央公民館)  |
| 5 月 25 日  | 柏市・沼南町合併リレーシンポジウム開催(柏市中央公民館)   |
| 6 月 18 日  | 沼南町議会において、柏市・沼南町合併協議会設置議案の議決   |
| 6 月 26 日  | 柏市議会において、柏市・沼南町合併協議会設置議案の議決  |
| 7 月 1 日   | 柏市・沼南町合併協議会設置  |
| 8 月 11 日  | 新市建設計画作成に関するアンケート実施<br>(両市町 18 歳以上の住民から無作為に 1 万人を抽出)                                     |
| 8 月 24 日  | 新市建設計画作成に関する公聴会開催(柏中央公民館)  |
| 8 月 26 日  | 第 2 回合併協議会<br>・合併の方式を承認  |
| 8 月 31 日  | 新市建設計画作成に関する公聴会開催(沼南町中央公民館)  |
| 10 月 3 日  | 第 3 回合併協議会<br>・新市の名称を承認  |
| 12 月 22 日 | 第 6 回合併協議会   |

・新市の事務所の位置を承認

平成 16 年

1 月 24 日 沼南町まちづくり懇談会開催（4 会場）（新市建設計画に関する住民説明会）  
～ 25 日

1 月 31 日 柏市合併住民説明会開催（17 会場）（新市建設計画に関する住民説明会）  
～ 2 月 29 日

5 月 7 日 第 11 回合併協議会  
・新市建設計画を承認

5 月 18 日 第 12 回合併協議会  
・合併の期日を承認

6 月 19 日 沼南町合併協議会住民説明会開催（10 会場）  
～ 27 日

6 月 26 日 柏市合併住民説明会開催（4 会場）  
～ 30 日

7 月 22 日 合併協定書調印（ホテルサンガーデン柏）

8 月 3 日 沼南町議会において、合併議案の議決

8 月 5 日 柏市議会において、合併議案の議決

8 月 30 日 柏市長、沼南町長が県知事に合併申請書を提出

10 月 12 日 県議会において、柏市、沼南町の合併議案の議決

10 月 13 日 柏市、沼南町の合併を県知事が決定、県知事から総務大臣に届出

11 月 5 日 総務大臣による合併の告示

平成 17 年

3 月 28 日 合併

（ 4 ）合併の特徴

庁舎の位置

柏市役所（沼南町役場は分庁舎）

議会議員の取扱い

在任特例適用（期間：平成 19 年 8 月 31 日まで。定数 54 人）

期間終了後の定数及び選挙区：40 人。選挙区は設けない。

農業委員会の取扱い

在任特例適用（期間：平成 18 年 7 月 14 日まで。定数 39 人）

期間終了後の定数及び選挙区：27 人。選挙区を設ける（3 選挙区）。

## 地方税の取扱い

原則として柏市の基準に統一。

## 地域自治組織

設置しない。

## 合併後の住居表示

- ・ 柏市 現行どおり
- ・ 沼南町 字の区域と名称は現行どおり

## ( 5 ) 合併関係市町村の概況

### 柏市

人口	333,519 人 (平成 17 年 3 月 1 日現在常住人口)
面積	72.91 k m <sup>2</sup>
沿革	昭和 29 年 9 月 1 日合体 (市制施行) 柏町、土村、田中村、小金町 (東葛市) 昭和 29 年 11 月 1 日編入 富勢村 (一部) 昭和 29 年 11 月 15 日名称変更 柏市
市長	本多晃 (合併時)
議長	青柳直樹 (合併時)
議員定数	36 人 (合併時)
職員数	2,462 人 うち一般行政職 978 人 (平成 16 年 4 月 1 日)
財政規模	普通会計歳出合計 87,105,630 千円 (平成 15 年度決算)

### 沼南町

人口	46,916 人 (平成 17 年 3 月 1 日現在常住人口)
面積	41.99 k m <sup>2</sup>
沿革	昭和 30 年 3 月 30 日合体 手賀村、風早村 (沼南村) 昭和 39 年 2 月 1 日町制施行
町長	藤川清 (合併時)
議長	相馬義昭 (合併時)
議員定数	18 人 (合併時)
職員数	410 人 うち一般行政職 237 人 (平成 16 年 4 月 1 日)
財政規模	普通会計歳出合計 13,056,208 千円 (平成 15 年度決算)



柏市役所



旧沼南町役場（現沼南庁舎）